

特集

平成31年度当初予算と主要事業

**「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき」
を実現するために**



本年度は、市制施行65周年の記念すべき年であると同時に、これからのまちづくりの将来像を描いた「第7次総合計画」がスタートする節目の年でもあります。これまで築き上げてきたものを引き継ぐとともに、「すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき」の実現に向けて新たな事業を積極的に推進し、市民の皆さんとの協働による「チーム韮崎」で、活力あるまちづくりに全力で取り組んでいきます。

夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり

◆子育て支援の充実

これまで満15歳までを無料としていた子どもの通院・入院の医療費は子育て世代の負担軽減のため、満18歳まで助成年齢を拡大します。

また、妊娠中の虫歯や歯周病による出産のリスクを回避するため、健診費用を助成するなど、妊婦歯科健康診査事業に取り組んでいきます。

◆学校教育の充実

教職員の多忙化の解消を図り、児童・生徒と向き合う時間を確保するため、学校給食費の公会計化を実施します。

また、県の適応指導教室が、昨年度末で閉鎖されたため、本年度より市単独で開設し、児童・生徒の就学環境の維持と支援体制の充実を図ります。

そのほか、中学生の英語力向上と保護者の負担軽減を図るため、実用英語技能検定の検定料を全額補助します。

さらに、今後、パソコン教育でプログラミングの授業が必修となることから、教育のICT化に向けた環境整備を進めるため、ICT支援員を配置し、学習活動を支援します。

思いやりあふれる福祉のまちづくり

◆障がい者福祉の充実

吸入器などをはじめ、全ての給付対象品目の年齢制限を撤廃し、利用者の状況に合わせた柔軟な給付を実施するなど、障害者日常生活用具給付貸付事業の充実に努めます。

また、障がいのある人の社会参加やまちづくりの推進など、障害者施策の基本的な方向性や長期的な目標を定めた「障がい者ふれあい計画」の見直しを行い、相互理解を深め地域で支え合いながら、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指します。

1 夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり 予算額(千円)

1	子ども医療費助成事業費	126,402
2	子ども・子育て支援事業費	293,585
3	子育てフェスティバル開催事業費	995
4	保育園運営費	340,656
5	母子健康診査事業費	23,910
6	適応指導教室運営事業費	8,744
7	学校給食費管理運営事業費	150,374
8	小中学校運営事業費	110,748
9	小中学校施設管理事業費	86,487
10	小中学校教育振興事業費	44,590
11	中学生検定料補助事業費	1,060
12	まちなか美術館事業費	6,754
13	日本遺産構成縄文文化財活用事業費	5,552

2 思いやりあふれる福祉のまちづくり 予算額(千円)

1	老人福祉センター管理運営費	14,890
2	障害者自立支援給付費等負担事業費	755,449
3	障害者日常生活用具給付貸付事業費	5,855
4	障害者等地域生活支援事業費	31,623
5	重度心身障害者医療費助成事業費	112,142
6	障害児通所支援事業費	83,970
7	社会福祉関係計画策定事業費	10,458
8	生活保護施行事業費	337,259
*	国民健康保険運営事業費	3,038,767
*	後期高齢者医療保険運営事業費	325,277
*	介護保険運営事業費	2,719,232

*印は特別会計・企業会計

「元気で健やかに暮らせるまちづくり」

◆健康づくりの推進

風しんの感染防止のため、妊娠予定者や妊婦の配偶者等

③ 元気で健やかに暮らせるまちづくり

予算額(千円)

1	健康ふれあいセンター管理運営費	38,644
2	健康教育事業費（健康ポイント事業含む）	1,402
3	予防接種事業費	70,095
4	健康診査事業費	4,547
5	保健福祉センター管理運営費	24,517
6	サッカーのまちプロジェクト事業費	8,950
7	地域体育館建設事業費	227,252
*	蕪崎市立病院運営事業費	2,674,078

*印は特別会計・企業会計

を対象に接種費用の助成を行うなど、風しん予防対策を充実します。

さらに、特定健診の受診勧奨の強化を図るため、AIを活用して問診データなどの分析を行い、対象者の行動様式に合わせて受診勧奨通知を送付するなど、受診率の向上に努めます。

◆スポーツ活動の充実

地域でスポーツを楽しむ拠点や有事の際の避難所として、中田屋内運動場の建築主体工事を実施します。

また、円野屋内運動場は本年度内に解体工事に着手する予定です。

「安全・安心に暮らせる強いまちづくり」

◆消防・救急体制の充実

災害時の避難所運営や子育て世代の防災・減災の普及啓発などを担っていただく「女性消防協力隊」を新たに組織し、女性目線による防災体制の強化・充実に取り組みます。

◆防災体制の強化

昨年度より継続の防災行政

無線のデジタル化に併せて、防災行政無線と連携した防災アプリを新たに導入します。

また、水防法の改正に伴い、想定される最大規模の降雨を前提とした洪水浸水想定区域を反映した新たな土砂災害（洪水）ハザードマップを作成します。

さらに、通学路などで倒壊の危険性のあるブロック塀等

の耐震診断および撤去費用を助成し、地震発生時の倒壊による被害の防止に努めます。

そして、本市に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風から60年を迎えるにあたり、市役所庁舎前庭に祈念碑を建立し、悲惨な災害を風化させることなく、後世に伝承します。

◆交通安全・防犯の推進

運転免許証を自主返納する70歳以上の高齢者に、タクシー利用券などを交付することで、高齢者の交通事故防止につなげていきます。

◆公共交通網の整備

市民バスとの運賃格差を是正するため、民間バスを利用する65歳以上の市民を対象に、ゴールド定期券の購入費用の一部を助成し、公共交通支援策の充実を図ります。

◆道路の整備

市道旭58号線および市道神山2号線は、引き続き、水路や歩道の設置を進め、地域住民の利便性の向上と交通安全の確保に努めます。

また、大村美術館への経路である市道神山39号線を拡幅し、大型車両のすれ違いを容易にするため、本年度より用地

④ 安全・安心に暮らせる強いまちづくり

予算額(千円)

1	消防団運営事業費	53,044
2	消防ポンプ自動車整備事業費	21,541
3	砂防総務費	5,962
4	木造住宅耐震診断事業費	1,825
5	木造住宅耐震改修事業費	4,640
6	災害対策事業費	9,015
7	防災行政無線デジタル化推進事業費	196,606
8	高齢者運転免許証自主返納支援事業費	600
9	市民バス運行事業費	52,781
10	高齢者民営バス助成事業費	1,898
11	市単独道路整備事業費	163,379
12	市道(旭)58号線道路整備事業費	20,020
13	市道(神山)2号線道路整備事業費	41,140
14	堀切橋拡幅整備事業費	264,275

交渉などを開始する予定です。さらに、現在、橋梁上部の製作、架設を行っている堀切

橋拡幅整備事業については、耐震補強・補修を引き続き、進めていきます。

「美しいふるさとを誇れるまちづくり」

◆住宅・宅地の整備

老朽化の進む市営住宅や定住促進住宅を改修することにより、定住人口の増加を図ります。

◆公園整備の充実

穂坂自然公園に新たに屋外シャワー設備を設置するほか、市立公園である塩川ふれあい公園の園路や中央公園の遊具を修繕するなど、安心して利用できる公園を整備して

⑤ 美しいふるさとを誇れるまちづくり

予算額(千円)

1	浄化槽設置促進事業費	18,857
2	クリーンエネルギー導入促進事業費	1,500
3	廃棄物処理対策事業費	72,724
4	資源リサイクル推進事業費	18,185
5	ごみ減量アクションプラン推進事業費	205
6	火葬場管理運営費	22,754
7	市営住宅改修事業費	40,670
8	定住促進住宅改修事業費	56,804
9	穂坂自然公園管理運営費	7,950
10	市立公園等管理費	7,544
*	水道運営事業費	1,423,839
*	公共下水道運営事業費	1,448,907

*印は特別会計・企業会計

魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり

◆農林業生産基盤の整備

宮農への支障と人的被害を未然に防止するため、引き続き、穂坂町の沢村堤の耐震改修工事に取り組みほか、本年度から穂坂町新溜池および旭町山口ため池の耐震改修工事を実施します。

また、朝穂堰は本年度で改修工事を終える予定であり、楯無堰についても、県営かんがい排水事業による継続的な整備を行い、農業用水の安定供給を図ります。

さらに、市内全域における農業生産の効率化と農家の経営安定を図るため、それぞれの地域の特性に合った農地の整備や用排水路の改修など、営農環境の改善に努めます。

◆農林業の振興

ワインを普及するためのセミナーや各種イベントを引き続き開催するほか、小規模ワイナリー建設に対する新たな助成制度により、葦崎産ワインのブランド化を推進します。

また、醸造用ぶどうの生産量を確保するため、ぶどう棚などの新設に係る費用に対する支援制度も創設します。

6 魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり 予算額(千円)

1	小土地改良事業費	73,670
2	県営畑地帯総合土地改良事業費	41,321
3	県営経営体育成基盤整備事業費	74,500
4	県営農村地域防災減災事業費	20,900
5	有害鳥獣駆除対策事業費	9,675
6	農地中間管理事業費	8,200
7	赤ワインの丘ブランド化推進事業費	6,965
8	果樹園芸振興事業費	2,151
9	特定鳥獣保護管理事業費	13,500
10	まちなか活性化対策事業費	9,986
11	小規模企業者小口資金融資事業費	1,266
12	観光振興事業費	25,467
13	観光施設管理事業費	11,507

7 市民が主役の持続可能なまちづくり 予算額(千円)

1	国際交流事業費	10,134
2	広聴広報事務費	33,550
3	市制祭記念式典事業費	3,125
4	男女共同参画社会づくり事業費	1,315
5	地区活動推進事業費	19,374
6	消費生活対策推進事業費	3,709
7	ふるさと納税事業費	68,592

さらに、有害鳥獣駆除対策として、猟友会の高齢化や新規狩猟者が減少するなか、効率的な捕獲を進めるため、ドローンを活用した空撮による生息分析や赤外線カメラによる狩猟時のサポートなどを実施します。

◆商業の振興

魅力ある商店街づくりを支援するため、商店の情報発信力の向上を目的とした、ホームページの開設やSNSの活用、ネット販売などの研修会を開催するほか、空き店舗を活用した地元製造業者による

◆経営改善の支援

「オープンファクトリー」を開催し、小中学生に自社製品を紹介するなど、モノづくりに興味を抱いてもらうための企画に取り組んでいきます。

起業を目指す女性などを対象に実施した「女性のための起業セミナー」を本年度も開催し、起業を目指す女性がさらに活躍できるよう支援していきます。

また、小規模企業者小口資金融資における利子補給を新たに追加するとともに、販路開拓等のための取り組みに対

◆観光基盤の整備

本市の魅力を発信する山岳イベントなど、観光振興事業を推進するため、地域おこし協力隊を新たに雇用するなど、交流人口の拡大や観光振

する、持続的発展支援事業補助金を創設し、小規模事業者の経営を支援していきます。

市民が主役の持続可能なまちづくり

◆積極的な情報発信・情報共有

市の公式ホームページがスマートフォンなどでも見やすくなるようデザインの最適化

興につなげていきます。
また、武田八幡宮や葦崎大村美術館周辺を中心とした観光案内を充実するため、新たに職員を配置するとともに、観光協会のホームページをリニューアルするなど、積極的な情報発信を行い、観光客の集客に努めます。

市制施行65周年記念事業

市制施行65周年を記念して様々な事業を実施します。
記念式典では、市制施行65周年の節目を市民の皆さんと一体となって祝うとともに、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を高め、さらなる飛躍・発展に向けた躍動する契機とするため、特別講演も実施します。



◆**定住対策の促進**
 移住希望者向けの移住相談会や移住体験ツアーを引き続き開催するとともに、持家住宅定住促進助成金や空き家バ

◆**青少年育成プラザ・ミアキス**

平成28年10月からスタートしたミアキスは、年間の利用者数が9,000人を超え、多くの中高生が利用していますが、本年度はミアキスを巣立って、首都圏で就学する学生を対象に、本市の情報を提供する取り組みを一層充実させるため、首都圏において、学生との交流を深める事業を展開していきます。

「**葦崎市まち・ひと・しごと**」

創生総合戦略

また、市勢要覧を作成し、広く市民の皆さんに本市の歩みを伝えます。
 関連記念事業として、子育てフェスティバルでは、屋内遊園地型プロジェクト「マッピング」を予定しています。
 また、減災フォーラムでは、東京大学大学院特任教授片田敏孝氏を講師として招きます。

さらに、昨年度、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」に認定されたことを記念し、縄文土器づくり教室や出土品の企画展を開催します。
 このほか、NHK「新・BS日本のうた」の公開収録や「相田みつを展」などを計画し、市民の皆さんとともに、祝いしたいと考えています。

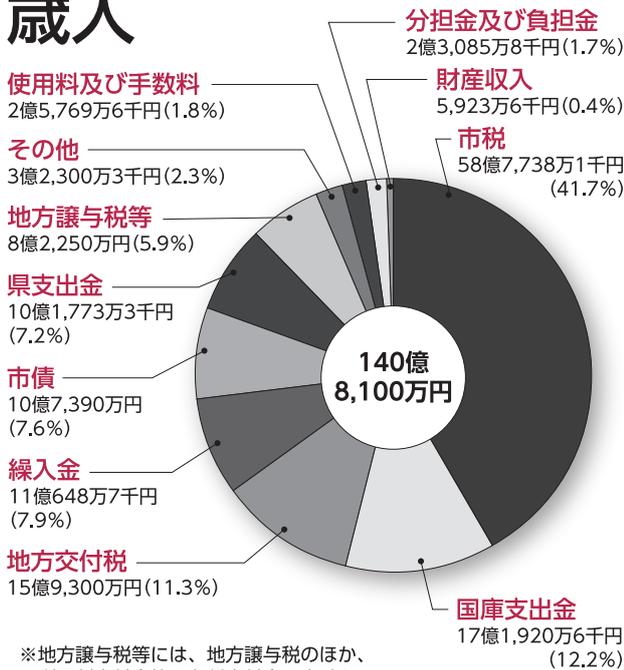
創生総合戦略
 ンク登録物件リフォーム補助金など、制度の周知に努めながら、移住者への支援はもとより、住み続けてもらうための取り組みを継続していきます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業 予算額(千円)

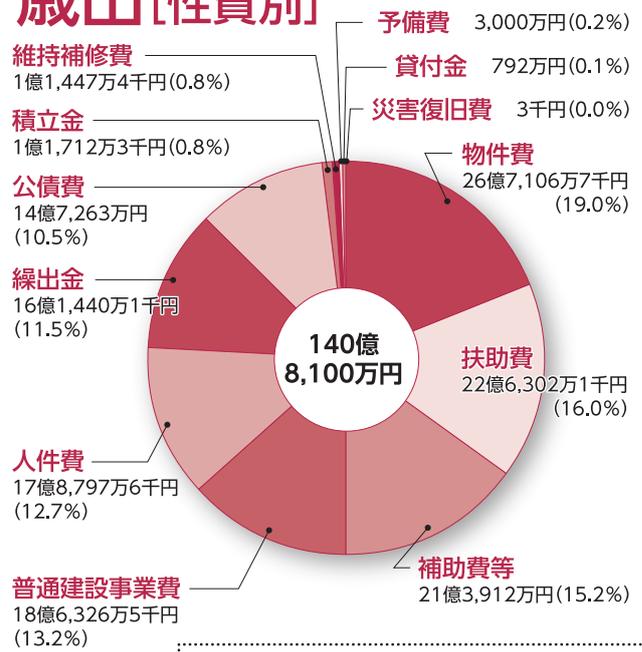
1	中小企業等支援事業費	7,422
2	定住対策促進事業費	49,246
3	持家住宅定住促進助成事業費	77,500
4	幸せ結婚・出産応援事業費	2,836
5	子育て応援事業費	606
6	観光プロモーション推進事業費	8,328

平成31年度当初予算 歳入・歳出の内訳 (一般会計)

歳入



歳出 [性質別]



歳出 [目的別]

